

大使の横顔

vol.1

市のPRを行っている奥州大使の皆さんを紹介するこのコーナー。1回目は落語家の三代目桂枝太郎さんです。



三代目
桂枝太郎さん

奥州大使

かつら・えだたろう
昭和52年衣川区生まれ
落語家
岩谷堂高校を卒業後、
桂歌丸に入門。平成21
年に岩手県出身の落語
家としては初となる真
打に昇進し「三代目
桂枝太郎」を襲名した。
落語芸術協会、マセキ
芸能社所属

「岩手に寄席を作った、そこで公開録音した番組を毎週放送するのが夢」と、古里と落語への情熱を胸に秘める枝太郎さん。都内の寄席や各地の演芸場などに出演しつつ、7月11日に横浜にぎわい座で開催する年に一度の『桂枝太郎まつり』に向けて、日々の稽古に励んでいます。



※広報掲載に合わせて奥州大使の皆さんの動画を公開予定。みんなで「奥州市」をチャンネル登録しよう！

奥州市 ユーチューブ 検索

広報紙で振り返る 奥州市の10年

第3回(2008年版)

水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町・衣川町の5市町村が、平成18年2月20日に合併して誕生した本市は、28年2月20日で丸10年となります。その節目を迎える本年度は、これまで広報紙に掲載した主な出来事を、皆さんに毎月お知らせしていきます。

■問い合わせ先 本庁政策企画課広報係(内線419)

5地区の新成人が一堂に会した初の成人式

合併してからも区ごとに開催していた成人式。これらを統一した初めての「奥州市成人式」を21年1月11日、市文化会館(Zホール)で開催し、



会場を約1200人の新成人が埋め尽くした

衣川区で最大震度6強を観測

20年6月14日午前8時43分、本県内陸南部を震源としたマグニチュード7.2、最大震度6強の「岩手・宮城内陸地震」が発生しました。衣川区で最大震度の6強を、胆沢区で震度6弱を観測。1

新成人約1200人それぞれの門出を祝いました。記念行事では、家族が心温まるメッセージを披露。新成人たちは、家族への感謝とともに大人としての決意を新たにしていました。



岩手・宮城内陸地震の被害や復興の状況などをお知らせした2008年7月号

年月日	合併3年目の主な出来事
20.3.20	前沢北地区工事完成式典、前沢中央線の開通式を挙げる
4.1	奥州金ヶ崎行政事務組合が発足堀ノ内公園、江刺カルチャーパークの一部がオープン
4.21	奥州宇宙遊学館がオープン国立天文台と友好協力協定を締結
5.7	奥州金ヶ崎行政事務組合たんこう浄水場通水式を挙げる
6.1	水沢区跡呂井地区の田んぼアートの初田植え
6.14	岩手・宮城内陸地震発生
7.11~	0.4(オーシュー)%支援事業の初投票を実施
8.11	胆沢区若柳の清水上遺跡が国史跡に指定される
8.3	水沢総合体育館(Zアリーナ)が入館者100万人達成
9.23	奥州万年の森植樹祭をスタート
10.4	清衡公遷都行列を実施、俳優の村上弘明さんが清衡役を務める
10.13~	国際姉妹都市オーストリアのロイテ市、ブライテンヴァング市へ合併後初の公式訪問
10.20	江刺図書館創立100周年記念講演会を開催
10.18	齋藤實生誕150周年記念シンポジウムを開催
11.15	齋藤實生誕150周年記念シンポジウムを開催
11.23	歴史公園えさし藤原の郷開園15周年記念式典が行われる
21.1.11	全市統一しての成人式を初開催
2.7~8	齋藤實生誕150周年記念市民劇「陽だまりのなかの春子さん」公演

新作落語に魅了されて落語家に
「ダウンタウンさんが好きで、吉本の学校に行こうと思ってたんです」。どこにでもいるお笑い好きの高校生だったという桂枝太郎さん。そんな若者を落語の道に引き込んだのは、一人の落語家で

した。高校3年の芸術鑑賞会で、桂米丸師匠の「新作落語」に触れた枝太郎さんは「こんな世界があるのか」と、衝撃を受けました。「70代後半で、16〜18歳の高校生を1人で笑わせられるなんて」。落語家のすこさを肌で感じ、米丸師匠の紹介で弟子の歌丸門

下入門しました。進路を決めた時、高校の先生には「酪農家」と勘違いされたといいます。落語家と言われてピンと来る人はまだまだ岩手では少ない。だからこそ、落語を広めよう、分かってもらおうと始めたのが、一昨年から開催している「衣川ふるさと寄席」です。

古里を元気にしたい

衣川ふるさと寄席には、奥州市で落語を広めることと、衣川に人を呼ぶという2つのコンセプトがあるといいます。開催時期をお盆前にしたのも、衣川が一番魅力あふれる時期を狙ったこと。「衣川で美味しい料理やお酒、それから観光も楽しんで夏の思い出にしてほしい」と願います。

— こんなことも聞いてみた！

Q. 将来の目標は？

人間国宝！

最上級の夢は、です(笑) こんな田舎の村から人間国宝にまでなったら面白いなと思って。目標はでかければでかいほど良いじゃないですか。

Q. ことしも奥州市に来てくれますか？

もちろんです！

8月9日(午後)1時半～サンホテル衣川荘で「第3回衣川ふるさと寄席」をやります。入場料2,500円、問い合わせはサンホテル衣川荘まで。(☎523311)

10年の節目を迎える 市民に聞く——



榎美佐子さん(65)

profile

えのき・みさこ◎昭和24年、盛岡市生まれ。夫の退職を機に、趣味の陶芸と野菜作りができる環境を求めて東京から胆沢区若柳に移住。榎陶房とカフェ蒼刈窪を営み、ことし移住10年目を迎える。夫と2人暮らし

夫の転勤でこれまで何度も引っ越し、ここが13カ所目。築約100年の古民家と牛舎散居集落が理想に近く「気に入ったら住んでみよう」という気持ちで暮らし始めましたが、あつという間に10年目になるんですね。自分の作った器でお客様をもてなしたいと始めたカフェは、今では市内外からお客様に来ていただけるまでになりました。地域の皆さんも私たちを温かい目で見守ってくれていて、穏やかで良い環境。これからもずっとここで暮らしていきたいと思っています。奥州市での生活は、東京での生活に比べて2倍の価値があると感じています。それなのに空き家が増えていっているのはもったいない。移住しやすいまちづくり、仕組みづくりを期待しています。